

Press Release

報道関係各位

2021年10月20日

シュローダー、グローバルでサステナブル・チームを強化

サステナブル運用力とサービスを拡充し、ネットゼロへの動きを加速

シュローダー（本社：英国 ロンドン）は、グローバルでのサステナブル・チームの強化を発表しました。これは、サステナブル投資の運用力やサービスを拡充するというコミットメントに基づくものです。

マーゴット・フォン・エイシュは、新設されたヘッド・オブ・サステナブル・インベストメント・マネジメントに任命され、綿密な ESG 調査やサステナブル投資に関わるモデルやツールの開発を担い、そうした ESG 分析を適切に各運用チームによる投資判断に組み込む、継続的な ESG インテグレーションに取り組みます。マーゴット・フォン・エイシュは、前職の Redburn 社では、パートナーとして同社の ESG ビジネスと顧客開拓における主導的な役割を果たしました。

シュローダーは、サステナビリティに関わるデータ分析への取り組みによってお客様に画期的な洞察を提供しており、受賞歴のある SustainEx はその一つです。**アンガス・パウアー**は、マーゴット・フォン・エイシュのチームで、サステナビリティ・アナリストとしてサステナビリティに関わる調査・分析を更に強化します。アンガス・パウアーは、前職の Redburn 社では、パートナーとして Redburn ESG フランチャイズの共同責任者を務めました。

また、これに先立ち、今年 7 月、**キンバリー・ルイス**をヘッド・オブ・アクティブ・オーナーシップに任命しました。キンバリー・ルイスは、前職の Federated Hermes International 社においては、ディレクター・オブ・エンゲージメントとして、エンゲージメントの推進を担いました。キンバリー・ルイスのチームでは、Federated Hermes International 社においてエンゲージメント・マネジャーを務めた**ケイティ・フレーム**が、アクティブ・オーナーシップ・マネジャーとして活動します。

マーゴット・フォン・エイシュとキンバリー・ルイスは、ともに、シュローダーのサステナブル投資グローバル・ヘッドである**アンドリュー・ハワード**にレポートします。

アンドリュー・ハワードは、シュローダーのグループ・マネジメント・コミッティにも参加し、サステナビリティを中核に据えるシュローダーのコミットメントをさらに明確にします。アンドリュー・ハワードは、入社以来、シュローダーのサステナビリティ関連の調査・分析をけん引し、豊富なインスピレーションをもとに SustainEx など独自ツールの開発を行ってきました。

シュローダー サステナブル投資グローバル・ヘッド アンドリュー・ハワードは次のようにコメントしています。

「チームを拡充したことにより、私たちは、市場をリードするサステナビリティ関連のデータ分析をさらに強化するとともに、スチュワードシップやエンゲージメントの強化や、お客様に提供する商品やサービスの拡大を実現できると考えています。」

「今は、サステナビリティを進める道のりにおける重要な節目の一つであり、ネットゼロへの道筋を明らかにし成功へ導く段階と考えています。私たちは、ビジョンと経験を持ち、業界内外で高い評価を受ける、市場をリードする人材を迎え入れます。」

「私たちは、企業としてまた投資家として、投資先企業がネットゼロと持続可能な未来へと進む後押しをするため、重要な役割を担っていると考えています。そのため、気候変動リスクを抑制し、2050年またはそれ以前にネットゼロを達成するための動きを加速するため、複数のコミットメントを行っています。データに基づく積極的なエンゲージメントに支えられた当社独自のアプローチによって、これらのコミットメントを達成することを目指しています。」

他にも、今年、シュローダーは、サステナブル・チームの拡充を行っています。ニューヨークの**ラザロ・ティエント**、シンガポールの**マーヴィン・タン**はそれぞれ北米とアジアにおいてシュローダーのサステナビリティ戦略を担っています。また、サステナビリティに特化したアナリストを7名任命し、日本株式チームを含めた世界各地の運用チームにサステナビリティの専門家として配置しています。さらに、これまで北米においてシュローダーのサステナブル戦略をリードしてきた**サラ・ブラットン・ヒューズ**は、その役割を拡大し、新たにソリューション部門のサステナビリティ・グローバル・ヘッドに任命されました。

シュローダー プロダクト・ソリューション・クオンツ担当グローバル・ヘッドのカロリーナ・ミニオ・パルエロのコメント
「環境規制の強化と社会的関心の高まりによって、お客様がネットゼロ目標への進捗とリスク調整後リターンの最大化を両立するためのソリューションの重要性は、ますます高まると考えられます。私たちは、お客様の目標達成のパートナーでありたいと考えています。」

以上

■シュローダー・グループの ESG の取組み

「質の高いコーポレートガバナンス体制を確立し、本業を通じて、環境や社会の変化および課題解決に対応する企業は、長期的に企業価値の向上と持続的成長が期待できる」という考えのもと、シュローダーは20年以上、ESGの要素を取り込んだ運用を実践しています。

ESGの観点を加味した運用を通じて、社会や環境にインパクトを与える真の企業価値向上を促すと同時に、社会や経済全体の利益となり、投資収益の拡大にも繋がることを目指しています。

■シュローダー・グループの概要

シュローダー・グループは、資産運用サービスを通じてよりよい未来への貢献を目指す、英国屈指の独立系資産運用グループです。ロンドン証券取引所に上場しています。1804年の創業以来200年以上にわたり、年金基金から機関投資家、個人投資家まで、世界の投資家に、長期的な視点に立ち幅広い投資ソリューションを提供しています。現在、運用資産総額は約107兆円*に上ります。

日本とのかかわりは古く、1870年（明治3年）、日本初の鉄道敷設のために日本政府が初めて発行した国債の主幹事を、シュローダーが務めたことにさかのぼります。1974年には東京事務所を開設し、日本における事業の本格的な第一歩を踏み出しました。幅広い資産運用サービスを提供する現在も日本株式運用を事業の中核の一つに据え、約150年前と同様、日本の未来への投資を通じて歴史を紡いでいます。

※2021年6月末現在。*7,004億英ポンド、1英ポンド=153.32円換算。

※本資料におけるシュローダー・グループとは、シュローダーplcを直接もしくは間接的に親会社とする会社などを言います。

本件に関するお問い合わせ先

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社 マーケティング部 大沢／菊地

電話：03-5293-1512／03-5293-1328

シュローダーPR デスク SchrodersJapanMediaRelations@schroders.com

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 90 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会